



の火災予防運動

11月9日～15日



「あなたです 火のあるくらしの見はり役」を統一標語に、11月9日から15日までの1週間、秋の全国火災予防運動が実施されます。

この運動は、火災が発生しやすくなる冬の季節を迎えるにあたって、火災予防の意識を高めていただき、火災の発生・拡大を防止し、火災から尊い生命と貴重な財産を守ることを目的としています。

次のポイントに注意して、住宅火災の発生を防止しましょう。

3つの習慣

- ▽寝たばこは、絶対やめる
- ▽ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する
- ▽ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す

4つの対策

お知らせ

『火災警報器等の設置・維持を義務付け』

全国では近年、建物火災による死者のうち、住宅での死者の発生割合が約9割を占める状況が続いています。特に死者の半数以上が高齢者で、その原因は逃げ遅れが約7割となっています。そこで、火災を早く発見し、逃げ遅れをなくすために、火災予防条例の一部が改正され寝室と寝室がある階段等に、住宅用火災警報器等の設置・維持が義務付けられました。新築住宅は、平成18年6月1日から、既存住宅は、平成23年6月1日から適用されます。

- ▽逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器等を設置する
- ▽寝具や衣類からの火災を防ぐために、防災製品を使用する
- ▽火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する
- ▽お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる

■問い合わせ 消防本部警防課 (TEL) 0124

9月定例市議会

9月定例市議会が9月6日から29日までの24日間の会期で開かれ、平成17年度一般会計補正予算案など29議案等が審議・可決されました。可決された主な議案は次のとおりです。

- ▼17年度高梁市一般会計補正予算：3億6948万円▽単市道路改良1億2424万円
- ▼産学官連携協定による学習観光交流プログラム作成委託200万円など
- ▼17年度高梁市介護保険特別会計補正予算：1130万円
- ▼17年度高梁市水道事業特別会計補正予算：430万円
- ▼17年度高梁市簡易水道事業特別会計補正予算：1億29万円
- ▼17年度高梁市下水道事業特別会計補正予算：2942万円
- ▼17年度高梁市地域開発事業
- ▼特別会計補正予算：2億6687万円（成羽町佐原工業団地造成）
- ▼財産の取得に関し議会の議決を求めることについて：消防ポンプ自動車および資機材一式を取得
- ▼介護保険法等の一部改正に伴う関連条例の一部を改正する条例
- ▼高梁市備中高梁駅前観光案内所の指定管理者の指定について：(社)高梁市観光協会を指定
- ▼高梁市教育委員会委員の任命について：保田貴子さん（有漢町有漢）を再任
- ▼人権擁護委員の候補者の推せんにつき意見を求めることについて：大月孝之さん（有漢町有漢）、中山美江さん（川上町上大竹）、物部占子さん（備中町平川）を人権擁護委員に推せん

子どもたちに支えられて

ALTの紹介

先月号に引き続き、外国語指導助手（ALT）として活躍中の2人をご紹介します。アメリカ出身で5月から川上幼稚園・川上小学校に勤務しているジョン アレキサンダーさんと、ニュージーランド出身の2学期から高梁地域局管内の幼稚園・小学校を担当しているリネィ ディジュウさんです。



リネィ ディジュウさん
34

私と妻のアナは日本語があまりできず、生活する上でとても簡単なことでも時間がかかってしまい、困難な事が多々ありました。私の所属している会社の岡山在住のコーディネーター（ヘルパー）の方々、地元の方々に助けられ、9月に来日して以来、高梁での生活を安定させることができました。彼らには大変感謝しています。

私は高梁市に来て数日後から外国語指導助手として学校での勤務を開始し、少しずつ高梁市を探検する機会が増えてきました。故郷のニュージーランドのクライストチャーチは、人口約44万人で、倉敷市の姉妹都市でもあります。妻と私はクライストチャーチの田舎町で育ったので、高梁市の自然の中で生活できて幸せだと感じます。高梁の秋の景色が美しいと伺っているので、これから四季の変化がとても楽しみです。

高梁市の一番良い所を挙げるとすると、それは高梁市の人々だと思います。私の担当している学校では、日本語の出来ない私を温かく、フレンドリーに迎えていただき、明るく元気いっぱい子どもたちは、私の仕事をより楽しくしてくれます。運動会に参加して、子どもたちの熱心に競技を行う姿には感激をしました。また、自分自身ダンスに参加したりと、楽しみました。

現在、落合小学校の先生に紹介していただいた剣道道場に通っています。日本語のコミュニケーションが上手くできないのに、剣道講師佐藤先生は忍耐強く、熱心に教えてくださいます。宇治の藤村さん一家との交流も始まり、野菜を頂いたり、通訳をしていただいたりと、とても助けられています。これからも地域の人々との関わりを増やしていきたいと考えていますので、どうぞよろしくをお願いします。

René de Joux



ジョン アレキサンダーさん
60

川上町の美しい山々と、元気な川上小学校と川上幼稚園の子どもたちに囲まれて過ごした1学期は、とても楽しいものでした。特に子どもたちの印象は皆明るく元気で、とても親しみを持って私を歓迎してくれたことには感激しました。

初めのうちは外国人講師の自分が子どもたちにとって、とても目新しい存在だから、子どもたちが自分に興味を持ってきているのだろうと考えていました。しかし、2学期に入った現在も、子どもたちの様子は変わることはありません。

運動会の練習が始まり、日々運動場で一生懸命練習をして疲れているのにもかかわらず、子どもは笑顔絶やさず、明るく私に語りかけてくれるのです。

彼らの素晴らしい笑顔、元気な声に私は励まされ、元気をもらっています。この川上町に来て、子どもたちに出会えたことに感謝しています。

さて、自己紹介をさせていただきたいと思います。私はアメリカ出身で、1978年に日本人の妻と京都で結婚しました。1979年には息子のマークスが生まれました。その後カナダへ戻り、4年間カナダで働いた後、日本に戻りました。そして娘のエイミーが京都で生まれた後、広島へ移り、約20年間英語講師をしていました。その後、川上町へやって来て現在に至っています。

今後、川上町の皆さんとのかかわり合いを大切にしながら、川上小学校・幼稚園での英語教育への向上に向けて、最善の努力を尽くしたいと考えています。

John Alexander

動物愛護活動に功績 環境大臣表彰に大枝さん



大枝信義さん(78)
原田南町

環境省の「動物愛護管理功労者」に大枝信義さんが県内で初めて受賞されました。「表彰は皆さんの協力のおかげ」と大枝さん。農家で育ち、幼いころから牛を治療する獣医さんに憧れ、県経済連に獣医師として勤務の後、昭和47年に南町に開業。30年以上、犬や猫などのペットの治療に従事されています。「動物を飼い始めたら最後まで飼ってほしい。途中で捨てるから動物を可愛がる気持ちを持つことが大切」と毎年、動物愛護週間に合わせて小動物とふれあう「ペットフェスティバル」高梁を開き、命の大切さを訴えています。また、県盲導犬友の会の顧問であり、募金を集めるなど、盲導犬の育成、普及啓発に努められています。「先生よくなりました」と言われることが何より嬉しい。今後とも動物愛護活動に精進していきたい」と話されます。